

◇自由投稿コーナー◇

みんなの広場

弓ぶちに参加して

八條小学校

本校は、創立以来137年の伝統校として「地域と共に八條小学校」をキャッチフレーズに、地域に根ざした教育活動を行い、保護者や地域の方々とコミュニケーションを通して協力・連携・融合ができることを目指しています。

地域と一体になった運動会をはじめ、学校周辺でのザリガニつり、わらじづくりやサツマイモ栽培等の体験活動などを行っています。1月20日には、鶴ヶ曾根の上久伊豆神社で行われた伝統行事「弓ぶち」に参加させていただきました。



弓ぶちには、総合的な学習の時間の授業の一環として八潮の「人」や「文化」への関心を高めるねらいで、10年前位から参加させていただいております。今回は、3年生児童79人が参加し、鶴ヶ曾根上久伊豆神社まつ

り保存会の皆様のご指導により、児童全員が実際に弓を射るという大変貴重な体験をさせていただきました。



児童からは「じつさいにやってみたらとてもむずかしかったです。3回目です。矢がいくつはなれておににあたってやぶれました。楽しかったです。(齋藤明日翔)」「30年前ぐらい前からつたわっているお祭りにはびっくりしました。漢字で鬼とかいてあるまると、鬼の絵がかいてあるまるとあってるのがすごくむずかしかったです。またこのお祭りに参加したいです。(酒巻ほの香)」という感想が聞かれました。

県東部地区15市町の指定文化財展示



1月12日から、八潮市立資料館で、企画展示「わがまちの宝物」が開催されています。

この展示会では、埼玉県の東部地区15市町で昔から守り伝えられてきた文化財84点（実物展示31点・パネル展示53点）が展示されています。

八潮市からは、県指定有形文化財の「絹本着色虚空蔵菩薩像」や市指定有形文化財の「円空作木造愛染明王座像」など普段は見られない宝物が展示されており、その他の地域からも貴重な文化財が展示されています。

展示会は2月28日まで開催されていますので、ぜひこの機会に資料館へお立ち寄りください。

親子で制作!鬼のお面づくり



1月18日、だいら児童館「わんぱる」で幼児イベント「鬼のお面づくり」が行われました。

赤鬼の顔にツノの模様やキバを貼り、えんぴつでぶつぶつ穴をあけてひげを表現し、親子で楽しみながら鬼のお面を完成させました。

参加した12組24人の親子は、ひと足早い節分を味わいました。

新たな門出 八潮市成人式



1月10日、八潮メセナで「八潮市成人式」が行われ、約500人の新成人が参加しました。

式典では、成人式実行委員会三宅洋行委員長のあいさつや当日参加した潮止小学校4年生の児童による合唱や呼びかけによって新成人の新たな門出を祝いました。

また、式典終了後に行われた抽選会では、当選番号が発表されるたびに大きな歓声が上がっていました。さらに、アトラクションでは出身中学校ごとに分かれて当時の担任の先生などを交えて和やかに歓談する様子が見られました。

新春イベント「お琴の調べと餅つき体験」



1月15日、やしお生涯学習館の開館15周年を記念して「お琴の調べと餅つき体験」が開催されました。

琴の演奏では、生田流箏曲志津慧会による「春のうた」「わらべうた」など計4曲が披露され、約90人の観客は新春の琴の音色に聴き入っていました。

そして、演奏会の後は杵と臼を使った本格的な餅つきが行われ、小さな子どもたちも杵を使って餅つきに参加しました。出来上がったお餅は、あべかわやいそべ餅にして来場者に振る舞われ、穏やかな新春のひと時となりました。

いきいきやしお写真館

この広報紙は、再生紙と大豆油インクを使用しています。

◆広報やしおは、毎月1回、10日（新聞休刊日を除く）に新聞折り込みで配布しています。届いてない世帯の方は、最寄りの公共施設、金融機関、市内10カ所のコンビニエンスストア、八潮駅などでお受け取りになれます。なお、次回の新聞折り込みは、3月10日（木）です。